

令和5年度第3回福祉有償運送運営協議会 協議事項に関する回答

	構成員選出元団体	構成員(敬称略)		料金変更	ご意見等及び事務局回答
1	国土交通省東北運輸局山形運輸支局	首席運輸 企画専門官	タシマ ヒロヤス 田島 宏保	○	特になし。
2	天童市民生児童委員連絡協議会	会長	ソネダ アツシ 菅根田 篤	○	特になし。
3	NPO法人山形県腎友会	副会長	エビハラ ツトム 海老原 勉	○	特になし。
4	社会福祉法人天童市社会福祉協議会	事務局長	モモソノ マサユキ 桃園 正幸	○	特になし。
5	山形県ハイヤー協会	会長	イシカワ ヤスオ 石川 康夫	×	タクシー事業と競合するため。 →福祉有償運送については、タクシー等の公共交通機関によっては移動制約者に対する十分な輸送サービスの確保が困難であると認められる場合において公共交通機関を補完する事業として認識しています。福祉有償運送の必要性については、令和6年度第1回目の協議会の場で協議していきたいと思います。
6	山形県ハイヤー・タクシー協会	会長	アオキ レイジ 青木 礼二	○	特になし。
7	山形地区ハイヤー協議会	幹事会社 代表	サガエ コウイチ 寒河江 晃一	○	実際のご利用者・お客様の平均利用金額(または平均乗車距離)を教えてください。→別添の資料2-2の右側に、令和5年度上期の平均利用料を記載してますので、ご覧ください。
8	全国自動車交通労働組合連合会山形地方本部	執行委員長	エンドウ エイジ 遠藤 栄二	○	特になし。
9	全国交通運輸労働組合総連合山形県支部	副委員長	イトウ ケイイチ 伊藤 圭一	○	特になし。
10	山形地区福祉有償運送実施団体連絡協議会	代表	サイトウ タケオ 齋藤 丈夫	○	諸物価の高騰・燃料費の負担増によって実施団体の多くが運営・団体の維持・利用者へのサービスに苦慮している状況にあります。利用料の増額はやむを得ないと思いますが、安易に利用者に負担を求めるのではなく行政として利用料の一部を負担するとか、補助金で対応するとか考えられないのでしょうか。 神奈川県や他県では実施団体に対し補助金で支援し、後継運転者の育成に努めている例があります。行政によるものにしろ民間によるものにしろ、福祉サービスとは弱い立場の住民に寄り添うべきものと考えます。そのことを忘れないで考える時、安易に利用者に転嫁する前に行政は行政なりに、民間は民間なりに何が出来るか考えるのが筋だと思います。 →各市町事務局に共有し、各運送団体の運営状況の実情を踏まえながら、活用できる補助金や支援があれば各運送団体に共有していきたいと思います。
11	山形市長寿支援課	課長	アベ シンヤ 阿部 伸也	議長のため 回答権なし	
12	上山市健康推進課	課長	ウルシヤマトオル 漆山 徹	○	特になし。
13	天童市社会福祉課	課長	ハヤカワ ミユキ 早川 美由紀	○	対価の水準に合致し、著しく高額な対価設定ではないことから、承認を可としてよいと考えます。
14	山辺町保健福祉課	課長	イワキ シンヤ 岩城 真也	○	特になし。
15	中山町健康福祉課	課長	ワタナベ ミキ 渡辺 美喜	○	特になし。